

科目群	科目区分等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2 単位 保育の内容・ 方法	保育内容 言葉	豊田 順子	1 年次	秋

授業のキーワード	領域「言葉」のねらい「心情、意欲、態度」の育ち 「感性と表現の豊かさ」の追求
授業の概要	言葉は日常生活の中で養われ、思考の媒体、コミュニケーションの成立と行動の調整機能に欠かせないものです。言葉の発達や指導法について学び、児童文化財に触れ、豊かな感性を育み、保育技術を学びます。
期待される学習成果（目標）	履修「言葉」を他の領域と関連付けながら総合的に考えることができます。 子どもと共に生活する中で、言葉を育て、心を育てることができます。 子どもにとっての「言葉の獲得」を様々な事例を通して学ぶことができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	ガイダンス	自己紹介、講義内容の説明・教科書の扱い方	第 9 講	児童文化財をとおして	・素話について ・民話や昔話を知る。 ・ペープサートとは
第 2 講	幼児教育について	幼児教育の基本を知る ・環境とは？遊びとは？ ・幼・保・小の関連	第 10 講	児童文化財作りの実践 1	・ペープサートを作る。 ・グループ作りをする。 ・役割、作品の題材を決める。
第 3 講	幼児教育について	・幼児期の特性について ・教師の役割	第 11 講	児童文化財作りの実践 2	・分担して作業、話し合いを進める。
第 4 講	領域（言葉）について	領域「言葉」の ・ねらいと内容について ・他の領域との関係	第 12 講	児童文化財作りの実践 3	・出来上がった作品を発表する。 ・お互いに評価しあう。
第 5 講	乳幼児期の発達と領域（言葉）	・からだで感じる世界 ・自分で広げる世界 ・広がる活動世界	第 13 講	文化財をとおして想像力を高める 1	・絵本の歴史と内容 ・わらべうた
第 6 講	乳幼児期の発達とことば	・ことばにならない表現、読み取り ・居場所、居方について	第 14 講	文化財をとおして想像力を高める 2	・紙芝居の歴史と実践
第 7 講	信頼関係から生み出されることば	・ことばにならない表現、読み取り ・居場所、居方について	第 15 講	まとめと実践	言葉を通して相互に伝え合う喜びを実践をとおして味わう。
第 8 講	子どもの心を揺り動かす、ことばの楽しさとは	・ことばの響き、リズム ・詩やうたとの出会い ・オノマトペ	定期試験		筆記試験
評価方法	筆記試験 70%、授業 30%（授業態度、提出物、実践含む） 応答性のある授業内容にし、意欲を高めていただきます。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
事例で学ぶ保育内容<領域>言葉（柊萌文書林）			随時紹介（毎授業の前に言葉遊び、伝承遊び、自然物を使った遊びなど、取り入れながら進めていくので、気付きの拠り所にしてください。）		